

(3) 内部環境監査

支店長が任命した「内部環境監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。この監査では、長崎支店における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているか確認しています。また、監査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

内部環境監査責任者から一言

長崎支店EMSの内部環境監査については、内部環境監査員研修を修了した者、かつ、監査に当たっては監査対象箇所に所属していない者が行うなど、その能力や客観性、独立性を保ち実施しています。

監査は原則として年1回実施しており、「ISO14001の要求事項が十分理解されているか」「法規制を遵守しているか」「前回監査の指摘事項が改善されているか」などをチェックしています。

2006年度の内部環境監査は、2人が1チームとなって4チームで実施しました。各チームの監査能力レベルが高くかつ均一である必要があり、事前の打合せやチェックリストの作成に十分な時間をかけて行うことがいかに重要であるか痛感しました。

事業所をめぐる環境や業務内容は、大きくはないにしても必ず変化しています。

過去の監査の結果にとらわれることなく、現時点での状況をしっかり把握して監査を実施することを心がけています。また、単に不具合を見つけるだけでなく、工夫しうまく機能していることについては他の部門へ水平展開するなど、良い面での評価も積極的に行っていくべきであると考えています。



長崎支店内部環境監査責任者／生野 義伸

(4) 環境教育

環境保全の重要性及びEMSを理解して活動していくために、EMSに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的実施しています。

また、設備事故や自然災害に起因する当社施設の被害は、周辺環境に影響を与えることも考えられるため緊急時を想定した訓練を定期的実施しています。

- ※1 EMS内容教育
EMSに関しての所員の力量を確保するために行う教育で、年に1回全所員を対象にEMSの必要性、目的・目標の周知などを行っています。
- ※2 内部環境監査員養成研修
EMSのシステムが的確に運用されているか確認するための内部監査を実施する上で、監査員の力量を確保するために実施している研修です。
- ※3 ISO関係社外研修
専門的な知識を要するISOの要求事項を確実に理解するために、ISO認証機関が実施している研修に参加しています。

主な教育訓練

自覚教育	適切な訓練	力量の確保	項目	頻度	2006年度実績
○	—	—	EMS内容教育*1	1回/年	5~6月実施
○	—	○	環境管理責任者EMS専門研修	1回/年	2005年度受講済
○	—	○	環境担当者EMS専門研修	1回/年	9月受講
○	—	○	環境管理委員教育	1回/年	4月実施
—	○	—	緊急事態対応訓練	都度	11月実施
—	—	○	内部環境監査員養成研修*2	都度	9~11月受講
○	—	○	ISO関係社外研修*3	都度	10月受講

(5) 外部審査

2002年7月のISO14001認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。

審査での指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目である2005年度には更新審査を受審し更新継続しています。

外部審査機関による受審状況

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
認証取得	○				
更新審査				○	
定期審査		○	○		○